

「第2回 手取川懇談会」を開催します。

～手取川の今後の河川整備の進め方について、有識者との意見交換～

手取川の河川整備は「手取川水系河川整備計画」に基づき進めていきますが、具体的に整備を進めるに当たって、有識者の方々と意見交換するものです。

意見交換を行う有識者の方々は、「手取川水系河川整備計画」策定にあたって、利害を超えて公平な立場で客観的な議論をしていただくことを目的として構成された、手取川に造詣が深い「旧手取川水系流域委員会」の委員の方々にお願いしています。

手取川懇談会の第1回は平成19年2月2日に開催しました。今後も年に1回程の開催を目指して有識者の方々と意見交換し、手取川の具体的な河川整備実施の参考にさせていただきたいと考えています。

記

1. 日 時 平成19年11月12日（月）13：30～15：30
2. 場 所 金沢河川国道事務所 2F会議室
3. 議事次第
 - 1) 開会挨拶
 - 2) 出席者紹介
 - 3) 懇談会
 - ・平成18年度手取川伏没還元調査結果報告
 - ・平成19年度の事業概要
 - ・手取川流砂系総合土砂管理に向けた取り組み
 - 4) 閉会挨拶
4. 資 料
 - ①手取川懇談会の設立趣意書
 - ②手取川懇談会会員名簿
5. 傍 聴 本懇談会は、報道関係者及び一般の方々の傍聴が出来ます。当日は13:15までにお集まり下さい。傍聴に当たっては懇談会の運営を速やかに行うため、係員の指示に従ってください。
 なお、当会場での撮影（テレビカメラ・スチールカメラ）は、3）懇談に入ってからのご遠慮下さい。

【問い合わせ先】

国土交通省北陸地方整備局 金沢河川国道事務所
 調査第一課長 氏名 万行 康文
 TEL : 076-264-8800（代表）

①手取川懇談会の設立趣意書

手取川はその源を霊峰白山（標高 2,702m）に発し、石川県の穀倉地帯である加賀平野を潤し、日本海に注ぐ石川県内最大の河川である。その流域は、白山市、小松市など3市2町にまたがり、石川県の社会・経済・文化の基盤をなしている。一方で手取川は、我が国有数の急流河川であり、上流域が白山火山に起因する非常に風化・侵食を受けやすい地質であること、多雨・多雪地帯であることなどから、過去に洪水被害を繰り返し、昭和9年7月11日に発生した大洪水では、97名の人命が奪われるなどの甚大な災害をもたらした。この洪水を契機として昭和9年12月より国の直轄事業として河川改修工事に着手し、安全・安心な地域づくりに貢献してきたところである。

一方、平成9年に河川法が改正され、計画的に河川整備を実施していくため、河川管理者は河川整備基本方針及び河川整備計画を策定することとされた。これに基づき平成15年10月に「手取川水系河川整備基本方針」を、平成18年12月には概ね30年間の具体的な整備計画をとりまとめた「手取川水系河川整備計画」が策定されたところである。

今後、手取川の「治水」「利水」「環境」等の河川整備や保全を目的とした事業については、「手取川水系河川整備基本方針」及び「手取川水系整備計画」に基づき進めていくことになるが、より適切に事業を進めていくためには、今後とも様々な専門家の意見・助言を伺っていく必要がある。このため、手取川についての造詣が深く、「手取川河川整備計画策定」の際にもご意見を頂いた「手取川水系流域委員会」の専門家と意見交換を行い、今後の事業実施の参考とさせて頂くことを目的に設立するものである。

②「第2回 手取川懇談会」出席者名簿

◇出席予定者：以下17名（敬称略・専門分野別五十音順）

氏名	専門分野	所属
辻本 哲郎	河川工学	名古屋大学大学院 教授
佐野 修	自然環境（魚介類）	石川県立自然史資料館
富樫 一次	自然環境（昆虫類）	石川県ふれあい昆虫館 前館長
中村 浩二	自然環境（生態学）	金沢大学自然計測応用研究センター 教授
野崎 英吉	自然環境（哺乳類）	石川県環境安全部自然保護課 課長補佐
古池 博	自然環境（植 物）	石川県自然史センター 専務理事
中川 耕二	地下水・地質	北陸地盤工学研究会 前会長
藤 則雄	地下水・地質	金沢大学 名誉教授
村島 和男	農業土木	石川県立大学 教授
宮崎 光二	内水面漁業	石川県内水面漁場管理委員会 会長
永井 隆一	地域社会	石川県砂防協会前会長、旧白峰村長
西田 耕豊	地域社会	石川県治水協会会長、川北町長
山崎 正夫	地域社会	手取川流域開発期成同盟会前副会長、旧尾口村長
小堀 幸穂	地域経済	鶴来商工会 副会長
平野 俊也	歴史・文化・文芸・教育	水辺の楽校推進協議会委員長、能美市立寺井図書館長
三田 薫子	歴史・文化・文芸・教育	作 家
米田 満	歴史・文化・文芸・教育	白山地域自然保護懇話会 座長